

サミットに引き続きアサギマダラフェスティバル開催

台風 14 号の接近で天気予報では雨確実と思われていましたが、誰かの行いが良かったのか終了間際まで曇りでフェスティバルは何とか開催できました。



今年はアサギマダラの飛来が少なく、残念ながら当日も数十頭の飛来に止まり、少し寂しいフェスでしたが、県内外から多くの皆さんにお出でいただき、数は少なかったのですが、それなりに楽しんで頂けたのではないかと思います。

三重県 伊勢市のみなさん

全国各地でアサギマダラによる、地域振興に取り組んでいるみなさんがサミットでも報告を頂きましたが、当日は、三重県の伊勢市の皆さん25人が視察に訪れました。

フジバカマが白糸菌に侵されて上手く育たなかったり、水田地帯の休耕田の中でアサギマダラがあまり飛来しないなどの悩みを相談されました。できる範囲でお答えしましたが、地域ごとに環境が異なり管理の難しさを改めて感じました。

現地講座は昨年同様4講座を開催し、各講座20~30人の受講をされ、講師の先生の説明を熱心に聴講されていました。

マーキング講座では蝶が少なく、マーキングできたのは僅かでした。

初めて、上伊那に生息する蝶についての講演を元信州大学教授の中村寛志さんをお願いして行い、知識を深めました。



フジバカマの株分け作業を行います。

今年は里親のみなさんにご苦労頂いたお陰で、人の背丈を超えるほどに生育し綺麗な花を咲かせてくれました。

刈り取りは、防風柵の撤去に合わせて10月26日に村で行いました。

株の掘り起こしと、移植については11月10日（木）掘り起こし、株分け。12日（土）移植作業を予定しています。移植の対象は一番東の1畝を予定しています。里親のみなさんには、2日の内どちらかへご協力いただけるようお願いします。

抜き取り作業 11月10日（木）午後1時30分から

重機で掘り起こし株分けをします。

持ち物 スコップ 草かき

移植作業 11月12日（土）午前9時から

鋤簾（鋤簾）等で穴を掘り株を植える。

持ち物 鋤簾（じょれん）など穴が掘れ、土を掛けられるもの。

※両日とも1時間以内で終了予定です。

里親のみなさんには毎年ご協力いただいていることに感謝申し上げるとともに、今年も是非ご協力いただきますようお願いいたします。

10日、12日とともに、里親のみなさん以外でフジバカマの苗をご希望の方は作業にご協力いただければ株をお分けしますので、希望される方がいらっしゃいましたら声を掛けていただき、一緒に参加してもらってください。

なお、西側の3列の生育が芳しくなかったのでPHを測定したところ、6.5以上と中性に近づいていることから、今年は木質堆肥を散布した上に新しい土を散布して様子を見たいと思います。

来年の状況を見て株分けを考えたいと思います。

第7回全国アサギマダラサミット開催（フェスティバルは次号で）

9月17・18日の両日、第7回全国アサギマダラサミット&フェスティバルを行いました。多くの里親のみなさんにもご参加いただき有難うございました。

サミットは久しぶりに、全国でアサギマダラによる地域振興に取り組まれている4組の団体の代表の方にパネラーとしてご参加いただきました。

基調講演は、村内に醸造所を構える本坊酒造(株)の本坊和人社長さんに「蝶とウイスキービジネス～その素晴らしい関係性と融合～」と題して、学生



サミット 本坊社長による基調講演

時代から興味をもって取り組んできた「蝶」を、ウイスキーのシングルモルト「パピヨンシリーズ」としてシリーズ化を図り、毎年新しい蝶のラベルで発表しており、発売と同時に売り切れる人気シリーズとなっています。

また、毎年行っているアサギマダラフォトコンテストで最優秀作品となった写真を使って、「シングルモルト駒ヶ岳 アサギマダラの里」を2021年から発売をしていただき、アサギマダラの里を全国にPRしていただいています。



今年も、フォトコンテストの作品を10月11日から募集しており、どの作品がウイスキーのラベルになるのか、今から楽しみです。

県外4地区からの報告＝パネルディスカッション

パネルディスカッションは「アサギマダラを活かした地域振興」と位置付けて、久しぶりに県外の4地区から、パネラーを迎え、長崎バイオパークの伊藤園長さんをコーディネーターにお願いし、各地区から取り組みを報告頂きました。

コーディネーターの伊藤園長さんは、ご両親がお隣の伊那市西春近の出身で、

アサギマダラの里でマークして放蝶したのを、2018年に長崎県佐世保市で再捕獲していただいたのをきっかけに、宮田村とお付き合いを頂いている方です。これもアサギマダラが人を繋ぐ不思議な力です。 パネラーのみなさん

石川県の中村さんからは、アサギマダラの移動の調査研究を目的に2015年に設立した研究会軸に、フジバカマ園「空の駅・白山」を昨年開園し耕作放棄地を地元の人たちと共同開設したことを報告。



愛知県の植木さんからは、知多半島で「アサギマダラネットワーク情報交換会」を近隣の9市町で組織し、知多半島をアサギマダラの飛来地にするための取り組みを報告。

奈良県の松井さんからは、曾爾街道と言われる県道沿いを、ヒマワリをはじめとする花でいっぱいにする活動からアサギマダラと出会い、2017年にフジバカマ500株を植えてアサギマダラを呼ぶ活動を、曾爾街道景観づくり隊の隊長として報告。

静岡県の平野さんは、富士宮市立の中学2年生ですが、小学校5年生の時にマーキングしたアサギマダラが徳島県で再捕獲されたことをきっかけに、「町の人たちの心を感動させ、癒してくれる蝶が来てくれたらうれしい」「それが町の活性化につながれば」と5年間の目標を立て現在4年目の活動を報告し、会場から大きな激励の拍手を受けました。

静岡県の中学生 平野真央さん



◇フジバカマの移植作業を予定

今年もフジバカマの移植作業を予定しています。今年が一番東の1畝と西側の6畝にパーク（木質）堆肥を散布したいと考えています。

11月10日と12日を予定しています。改めて連絡をしますのでご協力をお願いします。

役場 産業振興推進室 商工観光係

TEL 85-5864

全国アサギマダラサミット(9/17)&フェス(9/18)in 宮田開催

新型コロナウイルスの感染拡大で去年は開催できませんでしたが、今年は感染対策をする中で、全国アサギマダラサミットを開催することになりました。

今回は、本坊酒造の本坊和人社長にお願いし「蝶とウイスキービジネス」と題して基調講演をお願いしています。

また、パネルディスカッションでは、アサギマダラを活用して地域振興を行っている、県外の4地区のみなさんにお集まり頂き、それぞれの地域の取り組みや課題、これからの進め方などの意見交換を行います。同封しました、チラシをご覧ください。



2018年のサミットの様子

翌18日には、昨年に引き続いてフェスティバルをアサギマダラの里で行います。

各種講座や体験などを予定していますので、多くの皆さんにご参加していただきたいと思います。

今年は商工会さんにもご協力いただき、ミニ商店街も予定しています。



昨年のフェスティバルの様子

間もなくアサギマダラの南下が始まります。昨年のように沢山飛来することを期待しています。8月中旬にフジバカマの倒伏防止のロープを張りました。

アサギマダラの里を綺麗にして、多くの見学者のみなさんをお迎えするために、里親のみなさんには暑いところ大変ですが、管理区域の除草を改めてお願いします。

第7回

全国アサギマダラ サミット&フェス in 宮田



◆アサギマダラサミット

9月17日(土) 13:00~16:00 会場/宮田公民会館 (宮田町7021)

- 基調講演「蝶とウイスキービジネス」サブテーマ=その素晴らしい個性と融合=
講師/本坊酒造㈱ 代表取締役社長 本坊 和人 氏
- パネルディスカッション「アサギマダラを活かした地域振興」
コーディネーター/長崎バイオパーク 伊藤 園長
パネラー/中村さん(石川)・松井さん(富山)・植木さん(愛知)・平野さん(静岡)・平沢(宮田村)

まだらくん・あさぎちゃん
0767779486(主)・15677777(代)



◆アサギマダラフェスティバル 中蔵大町

9月18日(日) 9:30~15:00

会場/アサギマダラの里 (宮田町2049-2)

午前/写真撮影講座・撮影会・里山の植物講座・里山の蝶講座
午後/マーケティング講座・体験会

宮田村のミニ商店街

9月18日(日) 連携開催

赤そば畑の開放
ルビーの栗駒ヶ岳ガーデン



アサギマダラの里で四国徳島からの北上アサギマダラ確認！

5月に入って北上中のアサギマダラを見る機会が増えてきました。

最近は、「里」より寺沢林道の方がよく見かけるようになっています。

イケマの葉の裏にアサギマダラの卵が産みつけられているのもすでに確認しています。

先日、長野日報で報道されましたが、里で初めてマークされた北上アサギマダラが里親の菊地さんによって写真に収められました。

北上中のアサギマダラが宮田村

に到着する頃は、秋のようにアサギマダラが集まる吸蜜花がないため、マーキングされた蝶を見つけるのは簡単ではありません。

今回確認されたアサギマダラのマークは「トクスヤ 5・18 KYS 1110」で、標識地は「徳島県 阿南市 椿町須屋奥」、標識日は「5月18日」、標識者は「ヨネヤマ キヨシ」さんが今年1110頭目にマークしたものです。

移動距離は直線で365km、7日間で北上してきました。

標識地の阿南市は、秋に里でマークした蝶が良く再捕獲されるところで、昨年は、徳島県で再捕獲された3頭が全て阿南市です。

本格的な梅雨が来る前にもう一度除草をお願いします。



里親のみなさんにはお忙しい中除草作業に汗を流していただき有難うございます。6日には梅雨入りし本格的に草の延びる時期になりました。

昨年植え替えをした畝も、ここにきて雑草が繁茂して、植え替えをしていない畝と変わらない状況になってきています。

ぐずついた日が続いて大変ですが、あまり草が伸びる前に除草をお願いします。



「トクスヤ 5・18 KYS 1110」

おかえり！アサギマダラの里で今年の初飛来確認

5月10日（火）の午前中に、アサギマダラの里で本年初めてのアサギマダラの飛来を確認しました。昨年は5月4日でしたので約1週間遅い初飛来になりました。



初飛来のアサギマダラ 10日午前10時半頃

春先は暖かい日が多かったのですが、最近は何となく肌寒い日が続いたので初飛来が遅れるのではないかと感じていましたが、予想どおり昨年より1週間遅い初飛来となりました。

アサギネット上でも、初見情報が寄せられていますが、今週も四国や中国地方ばかりでしたのでもっと遅れるかと思っていましたが、1頭でも見ると今年もいよいよアサギマダラの季節がやってきたと感慨

深いです。

偶然、同じ日の同じ時刻頃、軽井沢町の「花咲山蝶の楽園」でもアサギマダラの初見情報がアサギネットに寄せられていましたので、長野県にも本格的に北上してきたと思われます。

北上してくるアサギマダラが「里」に訪れる数は、秋の飛来数に比べると極端に少ないので、今までマーキングされた北上中のアサギマダラの再捕獲はありません。

マーキング調査をしている者のロマンとして、マーキングされた北上中のアサギマダラの再捕獲もその1つで、他に自分がマークした蝶を他の場所（できれば県外）で自分が再捕獲すること。そして海外で再捕獲してもらうのが最大のロマンです。今年は是非1つでも叶えられればいいのですが。

4人の新しい里親を迎え、新年度の里親説明会を行いました。

今年度は新たに4人の里親のみなさんをお迎えし、4月16日に里親説明会と初作業を行いました。

春先に暖かい日が続いたことで、雑草の伸びが進み、特にスギナに覆われた管理区域も有り、里親の皆さん悪戦苦闘して除草に取り組んでいただきました。植え替えをした畝も雑草が目立ち始めましたので除草をお願いします。

今年1年よろしくお願いいたします。



上手に草が取れるかな？

アサギマダラの里で見られる春の雑草 元神戸大学教授 農学博士 伊藤一幸

春に花の咲く麦や菜種の雑草を紹介します

フジバカマの芽を取らないように、雑草の名前を覚えながら早めに除草しましょう。

イヌナズナ①：黄色い花のナズナ。伊那谷では本種が特異的に多い。植物を使った DNA 解析は本種に近いシロイヌナズナです。

ナズナ②もたくさんあります。下から順番に白い花を咲かすぺんぺん草で春の七草の一種です。

①



②



③ ④



オオイヌノフグリ③：名前は悪いが、紫色のきれいな花がたくさん咲きます。写真下のロゼットはハルジオン④です。右上の赤紫の葉はヒメオドリコソウです。

※ロゼット=平らで放射状に配列するもの

⑤

コハコベ⑤：地面を這う白い花。ハコベは春の七草の一種。みそ汁などに入れて食べると体にいいです。茎の繊維は強い。

⑥



タネツケバナは「ツマキチョウ」の食草です



タネツケバナ⑥：白い花がかたまって咲きます。この花が咲く頃に稲粃を水に漬けるためにこの名前があります。類似種にミチタネツケバナがあります。アブラナ科ですから少し辛みがあります。

⑦

スズメノカタビラ⑦：今頃イネ科で花が咲いているのは本種だけです。ゴルフ場の最重要害草です。



⑧



⑧セイヨウタンポポ。

⑨ヨモギとスギナです。草餅の材料だから
ご存じでしょう。

⑨



⑩



⑩ヒメジョオン

キク科のロゼット植物：この季節には花
は咲いていませんが、葉の形で種類の判別
ができます。多年生の⑦ハルジオンと⑧セ
イヨウタンポポ、⑨ヨモギ、(⑪フジバカマ
もこの仲間です)。越年草の⑪ヒメジョオン、
ヒメムカシヨモギ、オオアレチノギク、ハ
ハコグサ、ウラジロチチコグサなど。**ロゼ
ット**とは冬の寒さから葉や芽を守るために
地面に平たく張り付くことですそれがバラ
の花のように見えることからこの名前があり
ます。

⑩



その他のロゼット植物；

⑪メマツヨイグサ（葉に
は斑点があります）、キウリ
グサ、シロクローバー（シ
ロツメクサ）、カラスノエン
ドウやレンゲもまれにありま
す。

⑪



⑫



⑫フジバカマです。これは採らないでください。

里親説明会と新年度初作業を行います。

いよいよ日が濃くなり、梅の花はすでに満開に。桜もちらほら咲き始めています。満開が今から楽しみです。

新型コロナの収束が見通せない中では、桜の下での花見の宴は今年も見送りになりそうです。

近くでは、高遠の桜が全国的に有名ですが、宮田村内にも桜の名所は沢山ありますので、今から目星をつけて、村内の桜巡りを計画したらいかがですか？

新しい発見もあるかもしれません。

新年度の里親説明会と作業を下記により行います。

里親のみなさんのご参加をよろしくお願いいたします。

里親説明会及び新年度初作業

日時 4月16日(土) 午前9時より1時間程度

場所 アサギマダラの里

持ち物 草かき 箕



北の城の桜



中央線沿いの桜(町3区)



← 本陣の枝垂れ桜

役場 産業振興推進室 商工観光係

TEL 85-5864

里親を追加募集しています。

春雷が轟き、春の嵐が過ぎて急に春めいてきた今日この頃です。

南西諸島の喜界島からは、すでにアサギマダラが羽化して北上が始まったと、アサギネットに情報が寄せられています。

今年もいよいよアサギマダラが見られる季節が来ました。

昨年宮田村でアサギマダラが初見されたのは5月9日です。例年はもう少し遅くて20日前後ですが、温暖化の影響か北上も早まってきているのかも知れません。

いずれにしても早く今年のアサギマダラに会い、昨年のような大乱舞が見られることを、今から期待しています。

前号でもお知らせしましたが、新しい里親を数名募集しています。近くに里親をやってみたい心当たりの方が居ました是非誘ってください。



春を迎えたアサギマダラの里



少しずつ雑草も伸びてきました。

春の訪れとともに雑草も！

暖かくなって来れば当然、自然の摂理で雑草が伸びてきます。

フジバカマの新芽はまだ出てきていませんが、雑草は容赦なく芽を出してきました。

4月の中旬に里親説明会と初作業を計画していますが、今後暖かい日が続くようなので、除草等管理をお願いします。

冬のアサギマダラはどうしているの？

今年は雪かきを何回もしなければならぬ、いかにも冬らしい冬になりました。里親のみなさんも雪かきでご苦労されていることと思います。

また、気温も氷点下5度以下の日が結構多く、諏訪湖の御神渡りも期待されましたが残念ながら今年も出現しませんでした。

久しぶりの寒い冬ですが、アサギマダラは冬の間どうやって越冬しているのでしょうか？



雪景色のアサギマダラの里

アサギマダラは通常、前年の11～12月に産卵し、孵化した後に2～3令（1～2回脱皮）幼虫で越冬します。

小さい幼虫で越冬するのは、餌が少なくて済み、活動を極力抑えるためには大きな幼虫より、できるだけ小さい幼虫の方が冬を越す確率が高いためと言われています。また、北上を始める時期とも関係があるのではないかと思います。

越冬の仕方は蝶の種類によって異なり、アサギマダラと同じ幼虫で越冬する仲間には、国蝶のオオムラサキやモンキチョウ、卵で越冬する蝶はウスバシロチョウやアカシジミ。蛹で越冬するのはアゲハチョウの仲間やモンシロチョウがいます。

成虫で越冬するキタテハやクジャクチョウなどは、3月の暖かい日にはもう姿を現します。

3月に入ると台湾や沖縄などで越冬しているアサギマダラが羽化して、4月には北上が始まります。

里親の追加募集をおこないます。

お世話になりましたが、体調や高齢などを理由に昨年で里親をやめられた方が数人いらっしゃいますので、追加で里親さんを募集します。

募集人員 数名

募集期間 3月末

応募先 役場 産業振興推進室 商工観光係まで TEL 85-5864

※里親さんのお知り合いで希望者が居ましたら是非ご連絡ください。

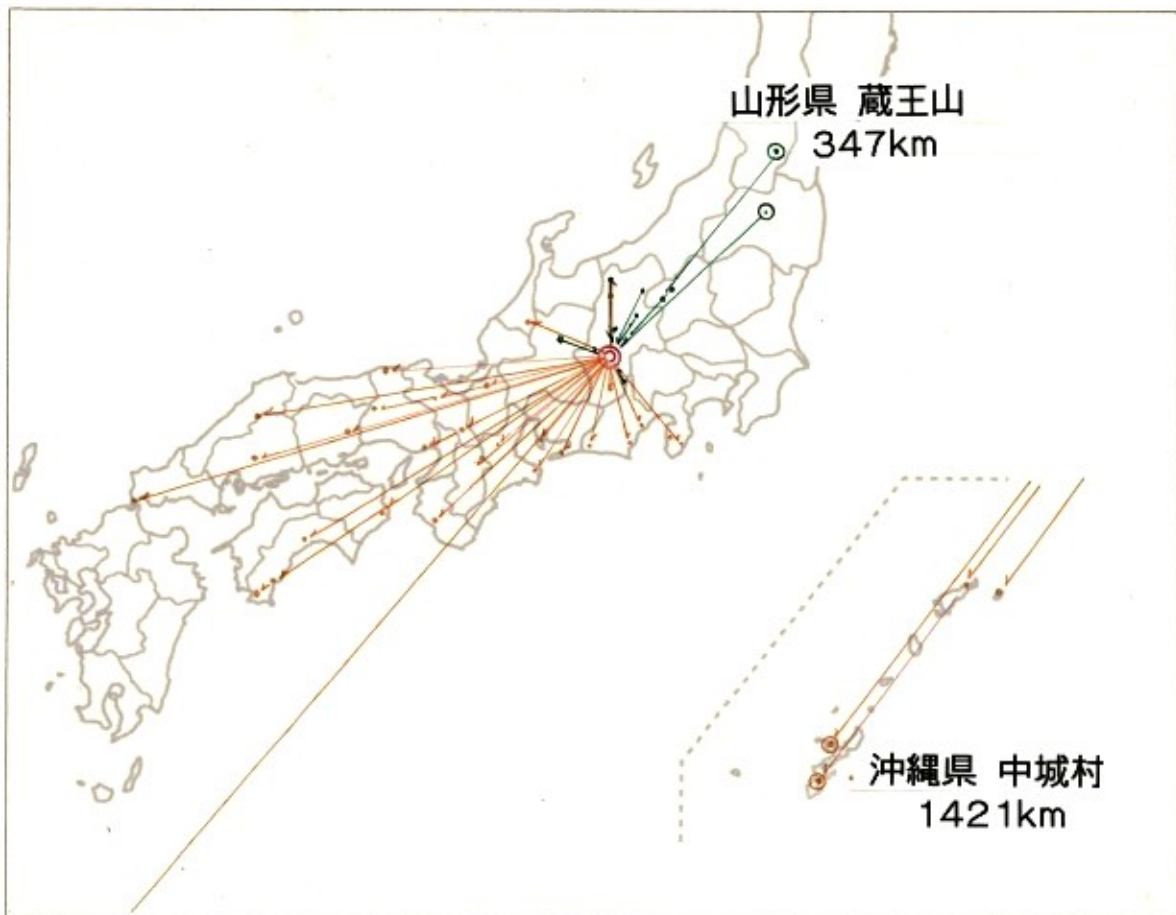
新年あけましておめでとうございます。

昨年中は里親のみなさんには、フジバカマの管理などに大変お世話になりました。お陰様で昨年は過去にない多くのアサギマダラの飛来があり、見学に見えられた県内外のみなさんに大変喜んで頂きました。これも里親のみなさんの献身的なご協力の賜物と感謝申し上げます。

昨年は、アサギマダラの飛来数も過去最高になりましたが、移動ルートもいつもと違うコースを辿って南下しました。下図参照

例年はアサギマダラの里から真っすぐ南下し、飯田周辺を通過して愛知県西尾市の三ヶ根山を中心とする三河地域に集まって、田原市の伊良湖から太平洋に出て、紀伊半島、四国南岸、九州東岸から南西諸島へ行くルートが一般的でした。ところが今年は今まで再捕獲の報告の無かった中国地方から多くの再捕獲情報が寄せられ、兵庫県の日本海側や島根県、岡山県、広島県の山間部、そして山口県の下関でも再捕獲されました。

今シーズンの最長移動は9月11日に村内の小学生の加藤悠真君がマーク放蝶した蝶が、52日かけて沖縄県中城村までの1421kmを移動した個体になります。再捕獲日は11月3日になります。 **移動経路**



1月13日現在、アサギマダラの里でマークして放蝶した蝶（約2500頭）の内、70頭が19府県、46区市町村で再捕獲されています。

＝アサギマダラの里からマーキング・放蝶され、再捕獲された地区と頭数

府県名	区市町村名	頭数	府県名	区市町村名	頭数
長野県	松本市	1	奈良県	曾爾村	1
	大町市	2		1	1
	小谷村	1	和歌山県	有田川町	1
	泰阜村	3		1	1
	駒ヶ根市	1	兵庫県	神戸市	3
	伊那市	1		宍粟市	1
	6	9		宝塚市	2
石川県	白山市	7		香美町	1
1	7	4	7		
静岡県	浜松市	1	岡山県	美作市	1
	静岡市	1		1	1
	島田市	1	広島県	三次市	1
	富士市	1		1	1
	下田市	1	島根県	阪南市	1
	藤枝市	1		1	1
	吉田町	1	山口県	下関市	1
	松崎町	1		1	1
8	8	徳島県	阿南市	3	
愛知県	田原市	1	1	3	
	西尾市	5	高知県	高知市	1
	美浜町	1		四万十市	1
	3	7		室戸市	1
三重県	鳥羽市	2		大月町	1
伊賀市	1	4	4		
いなべ市	1	愛媛県	愛南町	1	
津市	3		1	1	
御浜町	1	鹿児島県	喜界町	3	
5	8		竜郷町	1	
滋賀県	高島市		1	2	4
1	1	沖縄県	中城村	1	
京都府	右京区		1	本部町	1
綾部市	2		2	2	
2	3	合計	46	70	